

令和5年11月定例記者会見

令和5年10月31日(火) 午前11時

<主な発表項目>

○ 令和6年度当初予算編成について

【資料 1 頁】

引き続き「第2次砺波市総合計画」に基づき、住みよさを更に拡充させ、より魅力的で活力ある安全で安心なまちづくりを展開する。

近年の一般会計当初予算の規模は、だいたい220億円台に収まっているが、令和6年度総合計画実施計画段階ではこれを超える規模となっている。ただし、一般財源ベースでは、前年度当初予算を若干上回る、1億4千万円の増である。これは、人件費や物価高騰の影響で経常経費が増大しているため、やむを得ない面があるが、今後の予算編成のなかでスリム化に努める。

○ AIチャットボット導入業務にチャットGPTを活用

【資料 2 頁】

令和6年3月から市公式ホームページ内にAIチャットボットを導入するため、現在準備作業を行っているが、導入時には、回答の基となる「Q&A集」を整備・データ化してAIチャットボットに設定する必要がある。

通常、手作業で実施するQ&A集の整備作業を、チャットGPTを導入し、自動化することで事務効率化とコスト削減を図った。

○ チューリップ公園 KIRAKIRA ミッション 2023

【資料 9～10 頁】

11月28日(火)～12月24日(日)の間、砺波チューリップ公園やその周辺施設を約10万球の光で装飾する。

今年のテーマは「Tonamission Colors Collection ～見つけよう キラキラの夢(ハート)～」。

会場に訪れたみなさまの夢をハートで表現している。会場には「隠れハート」もあるので、楽しみながら探してみたい。

なお、点灯時間を昨年より1時間早め、17時として来場者がお楽しみいただける時間を拡大する。

現在、会場や会場周辺のLED装飾に協力いただけるボランティアを募集しており、11月23日(木・祝)午前と午後の半日作業に分け、装飾を行う。実行委員メンバーやボランティアなど市民の皆さんの協力のもと、工夫を凝らした光の演出によって冬のチューリップ公園内の賑わいを創出したいと考えている。

また、電気代や資材などの管理費の高騰により運営に支障をきたしていることから、事業の継続性とクオリティの確保を目的として、チューリップ公園の北門を中心に協力金箱を設置する。協力金には、今回初めて「QR決済」を使用することができるので、ぜひご協力をいただきたい。

○ 台湾キャンペーン(市長トップセールス)

【資料 11 頁】

「2024となみチューリップフェア」、「チューリップ四季彩館」、「庄川遊覧」など、砺波市の魅力ある観光地への台湾からの誘客を強化するため、市長、プリンセスチューリップらの参加によりトップセールスを実施する。

①全行程 11月29日(水)～12月3日(日)

②トップセールス日程 11月30日(木)～12月2日(土)

③訪問先 観光関係：台北市旅行会社(10社程度)

チューリップ球根輸出関係：士林官邸公園(台北市工務局、公園管理处)